

2025国際協同組合法 記念行事



国際協同組合法年

協同組合はよりよい世界を築きます

『ともに生き、ともに働く』

「平和」と「協同」について考える』

映画「医師 中村哲の仕事・働くということ」上映とアフタートーク

労働者協同組合法成立記念作品



医師中村哲の 仕事・働く ということ

語り：室井滋 朗読：塚本晋也

写真・映像提供：ベシワール会／PMS
企画・提供：日本労働者協同組合（ワイカーズコ）連合会センター事業団
一般社団法人日本社会連帯機構
製作：日本電波ニュース社 HD／16:9／カラー／47分

開催
日時

2025年12月13日（土） 10：00～11：40

会場

鴻巣市文化センター クレアこうのす小ホール

鴻巣市中央29番1号 鴻巣駅東口から徒歩20分 運転免許センター行バスで5分

定員300人 参加費無料 要申込・先着

【主催】2025国際協同組合法年埼玉実行委員会

2025国際協同組合法年全国実行委員会認定事業



医師中村哲の
仕事・働く
ということ

アフガニスタンとパキスタンで、
病や戦乱、そして干ばつに
苦しむ人々のために
35年にわたり
活動を続けた男がいた。

1984年に医療支援をスタートし、干ばつ対策用の用水路建設、農村復興へと活動を広げた中村哲医師、その歩みは35年に及んだ。中村医師はまず現地の言葉を覚え、現地の人々との対話を通じ、信頼を重ねていく。「私たちに確乎とした援助哲学があるわけではないが唯一読めぬ一線は『現地の人々の立場に立ち、現地の文化や価値観を尊重し、現地のために働くこと』である」用水路建設では自ら設計図を引き、重機を運転し、泥にまみれて一緒に作業する。その作業には貧しさゆえにタリバンに参加していた農民も参加していた。「己が何のために生きているかと問うことは徒勞である。人は人のために働いて支え合い、人のために死ぬ。



そこに生じる喜怒哀楽に翻弄されながらも、結局はそれ以上でもそれ以下でもない」荒れ果てた大地は蘇り、農作物は実り、65万人の生活を支えている。

親子で収穫し、家族で食事をする風景は眩しい。

中村医師は言う「これは人間の仕事である」



申し込みは、右の二次元コードを読み取って、
必要事項をご記入ください（要申込・先着）

【お問合せはこちらにご連絡ください】9時30分～17時（土日祝休）

2025国際協同組合年埼玉実行委員会事務局

○埼玉県農業協同組合中央会 TEL:048-829-3307

○埼玉県生活協同組合連合会 TEL:048-844-8971



2025国際協同組合年埼玉実行委員会 47団体（順不同）

埼玉県農業協同組合中央会、埼玉県信用農業協同組合連合会、全国農業協同組合連合会埼玉県本部、全国共済農業協同組合連合会埼玉県本部、埼玉県農業信用基金協会、埼玉県農業共済組合、埼玉県米麦改良協会、埼玉県畜産会、埼玉県森林組合連合会、埼玉県漁業協同組合連合会、埼玉県茶業協会、埼玉県土地改良事業団体連合会、埼玉県農業会議、さいたま農業協同組合、あさか野農業協同組合、いるま野農業協同組合、埼玉中央農業協同組合、ちちぶ農業協同組合、埼玉ひびきの農業協同組合、くまがや農業協同組合、ふかや農業協同組合、埼玉岡部農業協同組合、花園農業協同組合、ほくさい農業協同組合、越谷市農業協同組合、南彩農業協同組合、埼玉みずほ農業協同組合、さいかつ農業協同組合、埼玉県生活協同組合連合会、生活協同組合コープみらい、生活協同組合パルシステム埼玉、生活クラブ生活協同組合、医療生協さいたま生活協同組合、埼玉県勤労者生活協同組合、埼玉県労働者共済生活協同組合、さいたま住宅生活協同組合、生活協同組合・さいたま高齢協、埼玉大学生生活協同組合、跡見学園女子大学生生活協同組合、大東文化学園生活協同組合、十文字学園生活協同組合、淑徳大学みずほ台生活協同組合、コープデリ生活協同組合連合会、日本労働者協同組合連合会センター事業団埼玉事業本部、一般社団法人埼玉ワーカーズ・コレクティブ連合会、一般社団法人埼玉県労働者福祉協議会、中央労働金庫埼玉県本部